

職場体験受け入れ企業様 募集

奈良県で社会的養護状態にある方の現状と
これからの取り組みについて



社会福祉法人ぷろぼの

目次

- P 3 社会的養護状態にある方の現状
- P 4 就労体験による社会との繋がり
- P 5 社会的な問題
- P 6 就職における現状〈問題点と課題〉
- P 7 非正規雇用となる構造
- P 8 奈良県の児童虐待相談件数の推移
- P 9 課題解決に必要な3大要素
- P10 登録方法ならびに連絡先

社会的養護状態にある方の現状

保護者の経済的事情や病気、障害等による養育困難、保護者の行方不明、死別等、または虐待を理由に児童養護施設やファミリーホーム、里親のもとで生活している児童は年々、増加しています。

児童養護施設、ファミリーホーム、里親の元で育った子供達は、いつまでも施設等で暮らせるかという、決してそうではありません。

施設やファミリーホーム、里親のもとで生活している児童は、18歳になると原則（高校卒業により）、施設や里親のもとを巣立ち自立していかななくてはなりません。

一般の家庭であれば進学・就職にあたって親が子に対して経済的な支援や必要なアドバイス等を与えることができますが、施設等退所者は保護者のもとには帰れず、一人の力で生きていかなければならないことが多いのが現状です。

就労体験による社会との繋がり

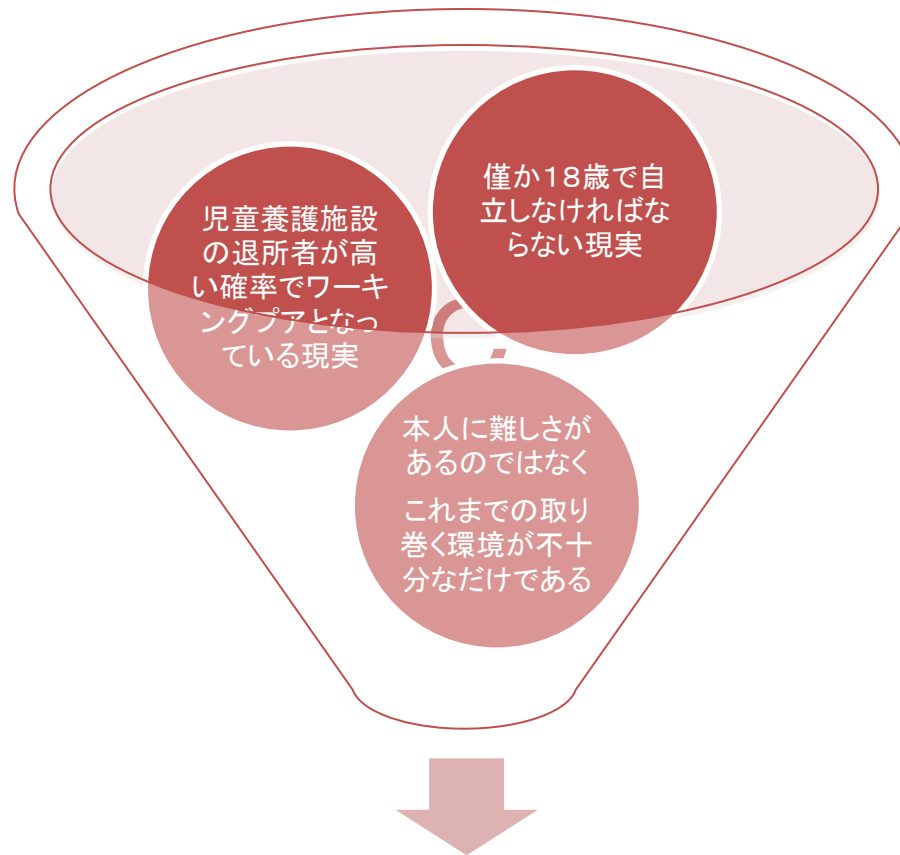
このような状況にあるこども達や若者の将来の為に、少しでも自己肯定感や社会性を身につけてもらいたいと考え、各企業の方々にこども達の『就労体験』先になっていただき、こども達が『社会』を知る、『おとな』を知る、『はたらく』を知るお手伝いをお願いしています。

子ども達は各企業の皆さまに笑顔で受け入れてもらえることにより、社会や大人に対して信頼する気持ちを抱くことができるようになり、職場体験によって成功体験を重ねることで子ども達の自己肯定感を育むことができます。

退所後にやむなく離職してしまい、ワーキングプアとなり、現在、社会問題となっている繰り返される貧困の連鎖をなんとか防ぎたいと考えています。貧困による児童虐待も増える一方です。

奈良県内にいる社会的養護の必要な子ども達が、スムーズに社会と繋がり自立していけるよう皆さまの御協力をいただけますよう宜しくお願いいたします。

社会的な問題



これらを解決する取組みが必要

就職における現状

〈問題点と課題〉

高校の高卒求人では就職活動、そして内定、入社するが、最初の就職先を離職してしまうケースが多い現状

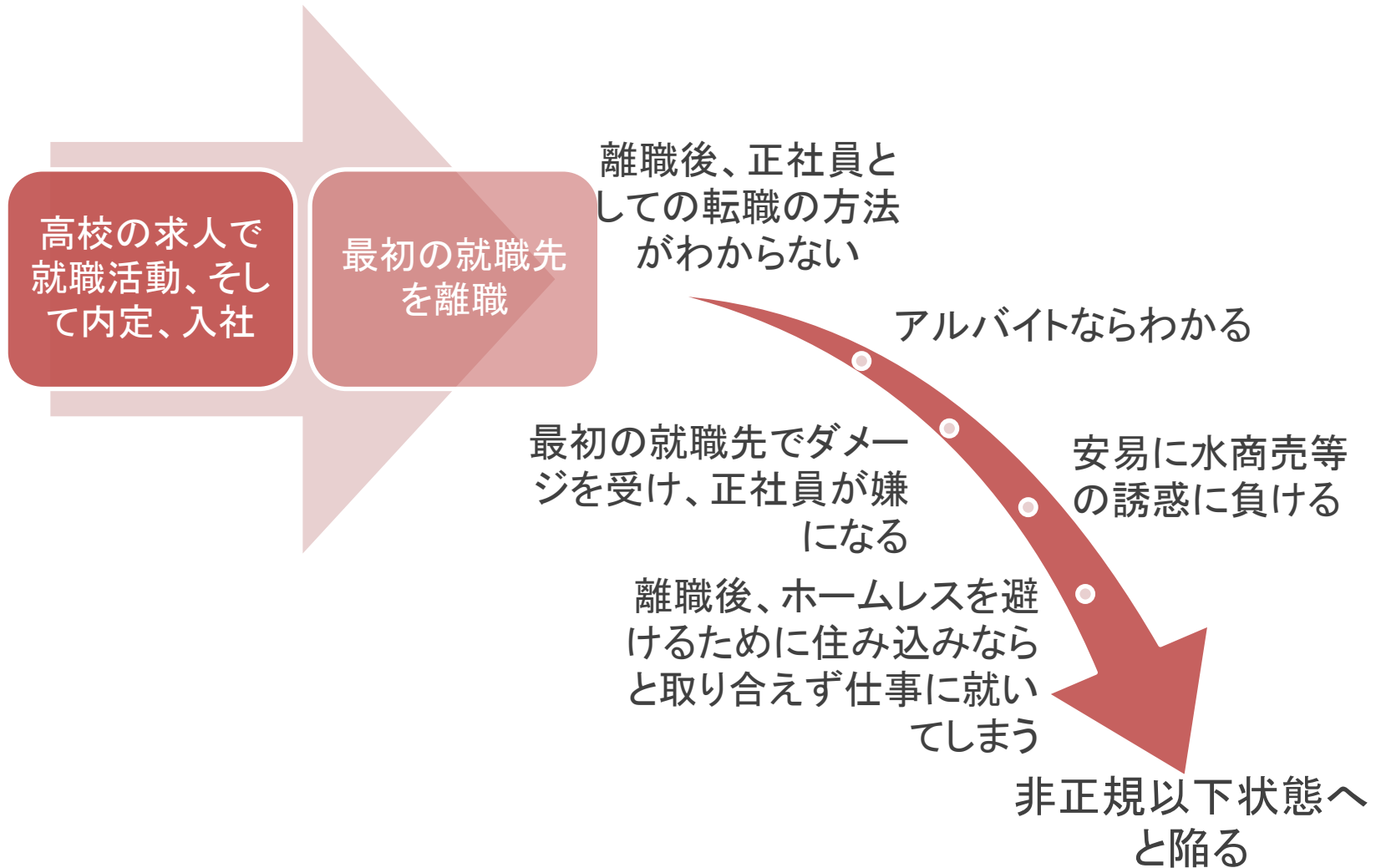
問題点

- ・社会全体で高校の就職支援力が低下している
- ・マッチングを意識しない表面的な就職支援によるミスマッチ
- ・やりたい仕事よりも住み込み就職などの条件を優先してしまう
- ・退所後は一人暮らしで人とのつながりが希薄になり、「孤独感」から不安になる

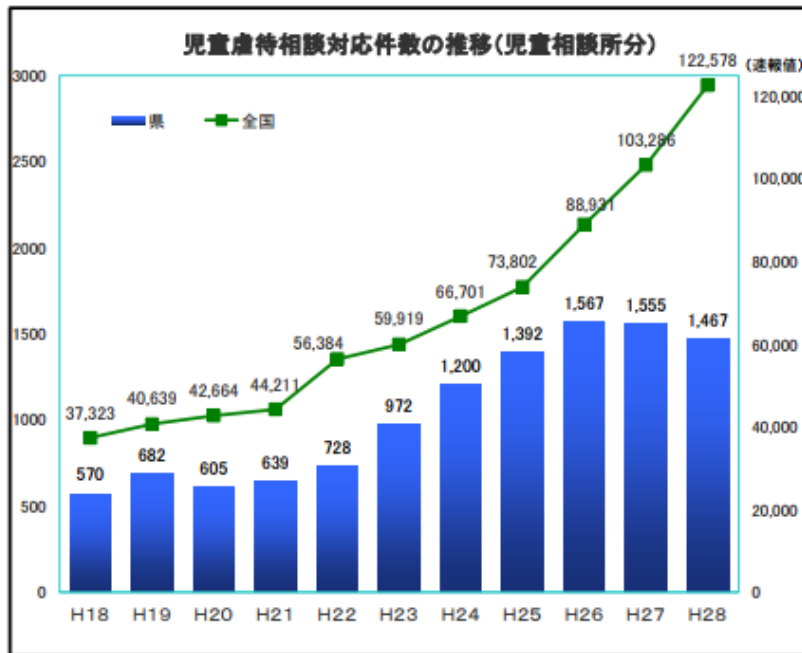
課題

- ・受け入れ企業の拡充
- ・就労体験、会社見学などで選択肢を拡げる
- ・やりたい仕事を本人の中で明確にする
- ・退所時の就職先を自分の意志で決定出来るようにする
- ・好循環を作り出すための先輩後輩の仲間作り

非正規雇用となる構造

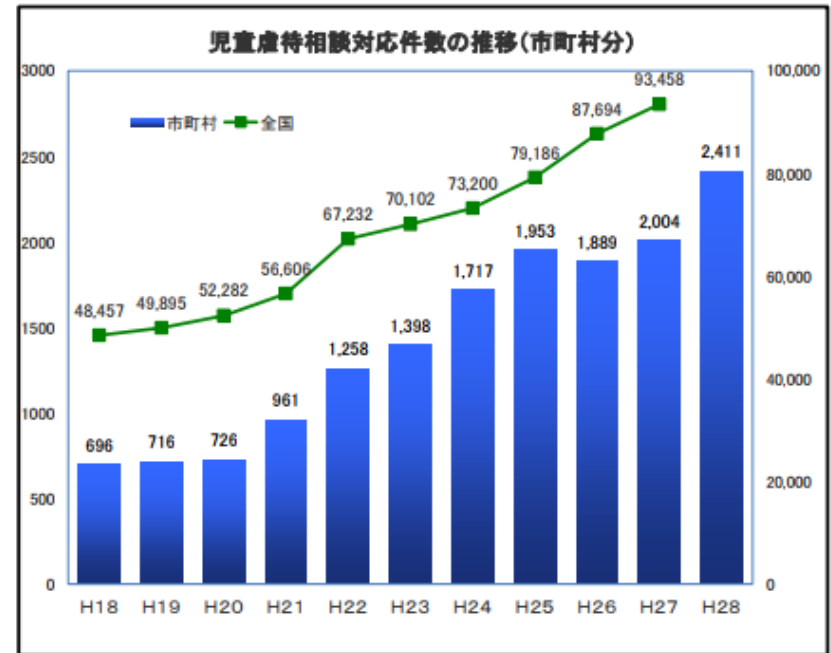


奈良県の児童虐待相談件数の推移



県こども家庭相談センター(児童相談所)での児童虐待相談対応件数は、平成20年度以降、毎年増加してきたが、平成26年度をピークに低下傾向がみられ、平成28年度は1,467件。対前年比件減(5.7%減)

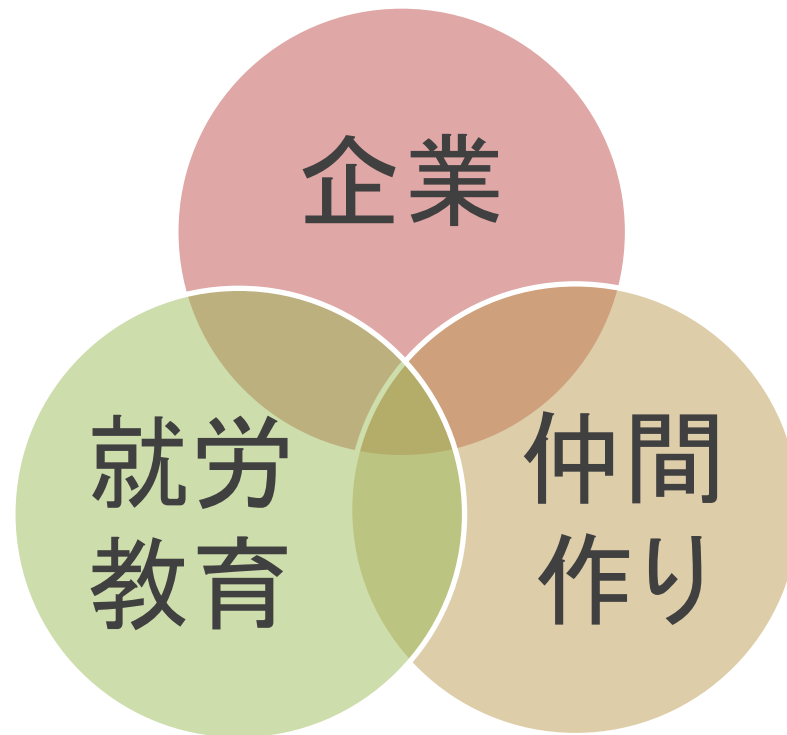
※参考 平成26年度→27年度: 12件減(0.8%減)
 平成25年度→26年度: 175件増(12.6%増)
 平成24年度→25年度: 192件増(16.0%増)
 平成23年度→24年度: 228件増(23.5%増)



県内の市町村での児童虐待相談対応件数は平成26年度以外は毎年増加しており、平成28年度は2,411件と過去最多の対応件数を記録。対前年比407件増(20.3%増)

※参考 平成26年度→27年度: 115件増(6.1%増)
 平成25年度→26年度: 64件減(3.3%減)
 平成24年度→25年度: 236件増(13.7%増)
 平成23年度→24年度: 319件増(22.8%増)
 平成22年度→23年度: 140件増(11.1%増)

課題解決に必要な3大要素



登録方法ならびに連絡先

社会的養護の状態にある、児童養護施設等の子どもたち、退所後の若者たちの就労支援に関する資料を読んでいただいた上で、職場体験受け入れにご賛同いただけましたら、別紙、職場体験要項をご確認の上、連絡先のFAXもしくはメールアドレス宛に、各項目をご記入のうえ、お申込みいただきましたら、こちらからご連絡させていただきます。

受け入れにご協力をいただけますよう、宜しくお願いいたします。

社会福祉法人ぷろぼの
助成：日本財団